

II 基本構想

1 将来都市像とまちづくりの視点

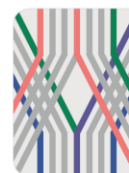
(1) 将来都市像

本市は、2008年度に策定した第4次総合計画において「改革と協働で築く自立のまち 水と緑の交流文化都市～ときめき・きらめき・いきいき・せきし～」を将来都市像として、定住人口、交流人口及び活動人口の拡大と本市に住んで幸せであるという幸福感を向上させるために、各種の政策を展開してきました。

私たちは今、本格的な人口減少社会の到来をはじめとした多くの課題に直面しており、これらの課題を市民と行政が共有し、協働することにより解決し続けなければなりません。そのために、刀匠が刀を作り上げていくように、まちの発展の基礎となる「産業」を鍛え、まちの可能性を広げる「学び」を伸ばし、まちの誇りとなる「文化」を磨き、本市の未来を切り拓いていくために将来都市像を定めます。

将来都市像

「産業」を鍛え、「学び」を伸ばし、「文化」を磨き、
未来を切り拓く「協働」のまち
～# Smart SEKlism～



シャープ [鋭く]
(Sharp)

SEKI has attractive regional power
すばらしい地域力を有する

スマート [賢く]
Smart

SEKI makes arts
匠(人)・技術を創る

セキイズム [関市らしく]
SEKIism

関住む
関に住むことに誇りを持つ

700 有余年続いてきた刀鍛冶の匠 (art) のように、今後も関市の「人・まち・暮らし」が、鋭くキラリと光り輝き (sharp) 続けるまちを創ります。
日本一の刃物の技術 (art) を育んだまちに誇りを持ち、将来にわたり鋭い (sharp) 感覚で時代を切り拓くために、地域の力 (regional power) を醸成し、市民とともに賢い (smart) 選択をし続けます。
また、関市の「人・まち・暮らし」の魅力を発信する (#) ことで、関に住む (SEKIism) 誇りと幸せを創造します。

(2) まちづくりの視点

まちづくりにおける最も重要な要素は、そこに暮らす「人」であり、そこに暮らす人の経済活動やコミュニティ活動の基盤となる「まち」であり、安心して快適な「暮らし」です。

将来都市像の実現に向け、これらの「人・まち・暮らし」の視点からまちづくりを進めることで「豊かさ」を生み出していきます。

「人」を豊かに

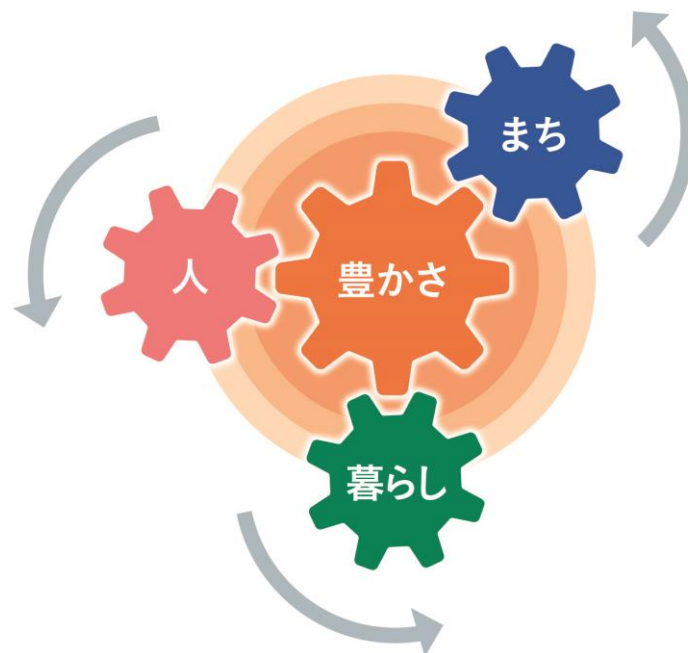
まちの最大の財産は「人」です。市民一人ひとりに寄り添い、安心して住み続けられるまちを創るとともに、いきいきと生涯を通じて活躍する心「豊かな」人を育むまちづくりを進めます。

「まち」を豊かに

活気にあふれ、魅力ある「まち」には人が集まります。個性ある「豊かな」まちづくりを進めるために、まちの特性を生かした様々な交流とまちの活力を創出する取組や、地域産業を振興し、経済が循環する取組を進めます。

「暮らし」を豊かに

住み慣れた地域でいつまでも「暮らし」続けるためには、安全で快適な生活環境が必要です。ゆとりと潤いのある「豊かな」暮らしを実現できるよう、環境と調和した安全な市民生活を確保するとともに、生活基盤の整った利便性の高い居住環境を整備します。

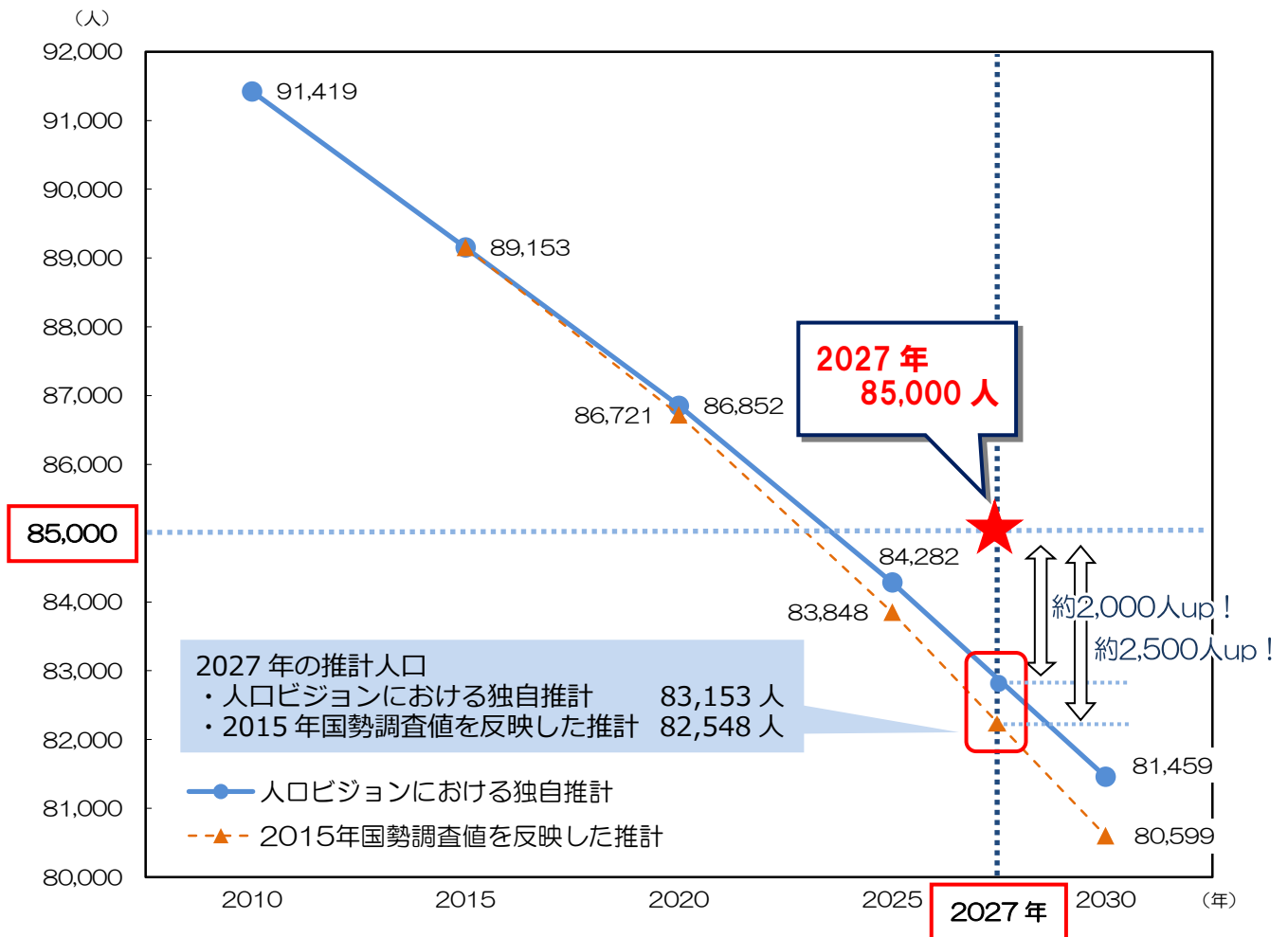


～「人」「まち」「暮らし」を動かして
地域に「豊かさ」を巡らす～

2 目標人口

2027年の推計人口は、2015年国勢調査値を反映した推計によると82,548人となります。また、2015年度に策定した「関市人口ビジョン」における独自推計では83,153人となります。

将来都市像の実現にむけて政策を着実に推進し、特に、若年層の移住定住に積極的に取り組むことで人口増を目指すこととし、本計画の目標人口を2027年に**85,000人**とします。



※推計の方法

○2015年国勢調査値を反映した推計

2016年作成の関市人口ビジョンにおける社人研推計方法をそのまま使用し、2015年の値を2015年国勢調査数値に差替えて推計したもの

○関市人口ビジョンにおける独自推計

2016年作成の関市人口ビジョンにおける独自推計の方法をそのまま使用し、2015年の値を2015年国勢調査数値に差替えて推計したもの

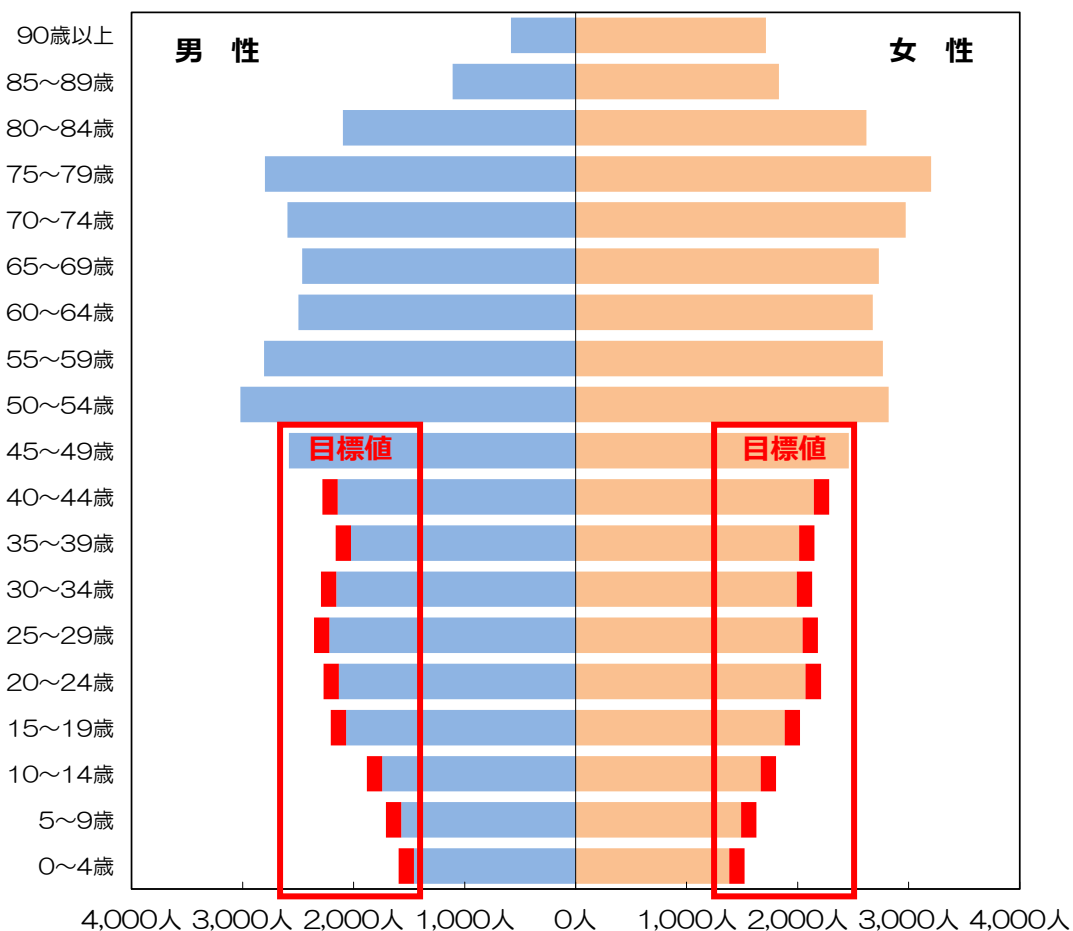
■各推計の仮定値

	出生の仮定	社会移動の仮定
2015年国勢調査値を反映した推計	2010年の全国の子ども女性比と関市の子ども女性比との比をとり、その比が2015年以降2040年まで一定として推計。	2005年から2010年までの実績に基づいて算出された純移動率が、2020年にかけて概ね1/2に縮小すると仮定して推計。
人口ビジョンの独自推計	合計特殊出生率を2030年までに1.8、2040年までに2.07に上昇させると仮定して推計。(国や岐阜県の人口ビジョンと同様)	転出超過の傾向がある10歳代後半から50歳代までの純移動率を、社人研推計よりやや厳しく見込んだ純移動率で推計。

■推計に使用した合計特殊出生率

区分	2015年	2020年	2025年	2030年
2015年国勢調査値を反映した推計	1.49	1.46	1.43	1.43
人口ビジョンの独自推計	1.49	1.60	1.70	1.80

■目標とする人口ピラミッド(2027年)



3 SEK I i s m (関イズム・関住む) プロジェクト

目標人口の 85,000 人を達成するためには、本市に人を呼び寄せる施策及び他市への人口流出を食い止める施策を全庁横断的に取り組まなければなりません。また、現在本市に住んでいる人の満足度を高め、「住んでよかった、いつまでも住んでいたい」と市民が実感する施策を力強く進めなければなりません。

本市が持つ個性（らしさ）や資源を十分に活用し、人、企業、団体など多様な主体に選ばれ、住んでもらうための取組を「SEK I i s m (関イズム、関住む) プロジェクト」と位置づけ、重点的かつ積極的に展開します。

地域経済循環 ～ SEK I ECONOMIC CYCLE ～

経済が良好に循環しているまちは、人や企業を呼び寄せると同時に流出を食い止めます。

生産、分配、消費の好循環をつくりだすために、地域産業を「稼げる産業」へ成長させ、市内雇用と市民所得の増加を図り、地域内の消費を促進する取組を行います。

主要な取組

中小企業の経営力向上
刃物産業の高付加価値化
若者・女性・高齢者の雇用促進
地産地消の促進
地域ポイントシステムの導入

起業創業支援
地域内消費の増加
市内大学・専門学校及び関商工との地域連携
周遊型観光の推進

地域力向上 ～ SEK I COMMUNITY POWER ～

本市は、中山間地域から市街地まで多様な地域を有した広大な市域となっています。そのため、地域ごとに特性があり、抱える課題も様々です。

全ての市民が住み慣れた地域で住み続けるために、地域が抱える課題に市民が関心を持ち、その解決のために様々な活動を展開できる「地域力」を向上させます。また、人と人とのつながりを深め、知恵や知識を共有し合いながら、協働による持続可能な地域社会をつくります。

主要な取組

地域委員会・市民協働の推進
地域防災体制の強化
学生・若者の地域活躍
子どもの見守り強化

地域包括ケアシステムの構築
地域人材バンク・ソーシャルビジネスの奨励
学びの循環
移住の促進

地域愛醸成 ～ SEK I CIVIC PRIDE ～

本市は、鵜飼や刀をはじめとする歴史的・文化的に特徴ある資源や美しい自然を豊富に有しています。

これらの本市が持つ資源の保存や活用を通して、市民の郷土愛を深め、本市に住むことが自慢となる「まちの誇り」を醸成し、「まちの魅力」を発信します。

主要な取組

日本一の刃物のまち
長良川等の自然保護
郷土教育の推進
定住の促進

鵜飼・日本刀・円空仏などの文化継承
伝統的な祭りの継承
シティプロモーション

4 都市の整備方針

将来都市像を実現するためには、市民生活を支える「まち」の機能を充実させていくことが重要です。

本格的な人口減少社会において、将来にわたり医療、福祉、商業などの生活機能が確保されるように、機能分担と効率化によるコンパクトなまちづくりを進めます。また、生活機能が集約された市街地と中山間地域が、公共交通、道路、情報通信基盤などを通じて結ばれ、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」が対流する“コンパクト+ネットワーク”のまちづくりを進めます。

●市街地

市街地は、コンパクトシティの考え方に基づき、行政、商業、医療、福祉、交通、教育、文化等の都市機能が集積した本市の中心拠点です。

周辺の地域との調和に留意しながら、計画的に都市機能と居住機能の集積を進め、効率的で魅力的な市街地にします。

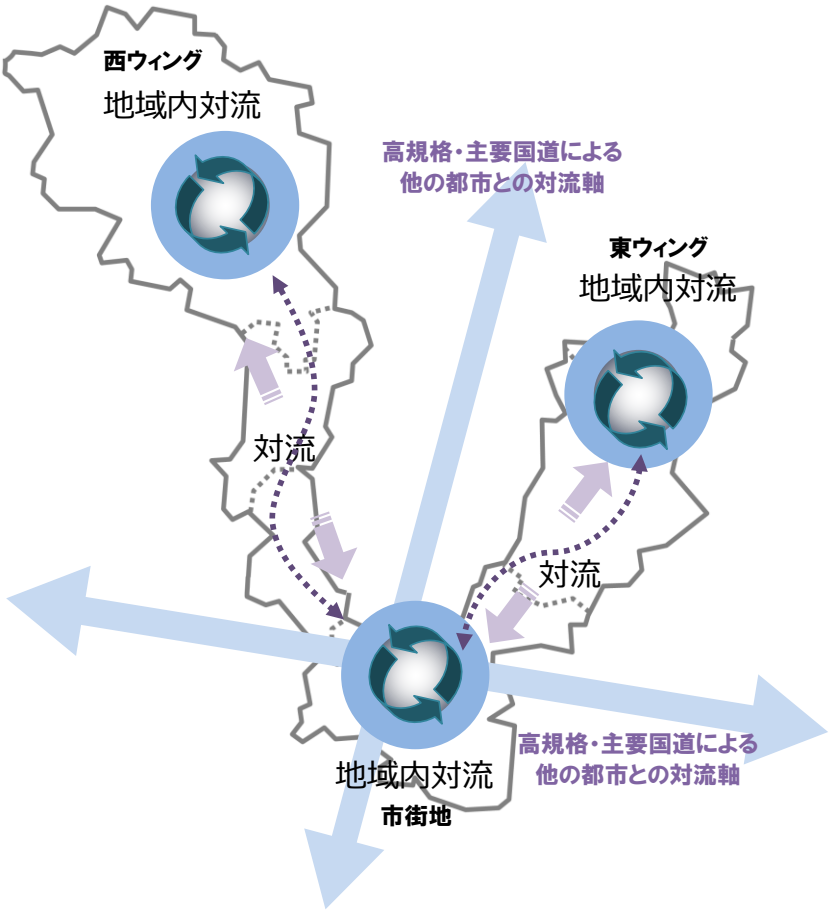
●中山間地域

恵まれた自然環境を有する中山間地域は、居住の場であるとともに、市街地に良質な水の恵みを提供し、観光・レクリエーションの場や農林水産物の生産の場として多くの役割を担っています。

移住定住の促進による地域活力の維持や、地域の大部分を占める森林の災害防止と水源かん養機能の維持に努めます。

「東ウイング」は、良質な住宅建材、しいたけ、ゆずなどの地域特産品の活用を進めます。

「西ウイング」は、豊かな自然、温泉、キャンプ場などの多様な資源を活用して交流人口の拡大を図ります。



5 まちづくりの基本政策

「産業」を鍛え、「学び」を伸ばし、「文化」を磨き、
未来を切り拓く「協働」のまち
～# Smart SEKIism～

(Sharp) [鋭く] SEKI has attractive regional power
すばらしい地域力を有する
Smart [賢く] SEKI makes arts
匠(人)・技術を創る
SEKIism [関市らしく] 関住む
関に住むことに誇りを持つ

SEKIism プロジェクト

地域経済循環 地域力向上 地域愛醸成

		地域経済循環	地域力向上	地域愛醸成
「人」を豊かに	サポート 【健康・福祉・子育て】 地域全体で「人」を支える ・地域における支え合いの体制の構築 ・高齢者が安心して暮らせる見守り体制の強化 ・安心して子どもを産み育てられる子育て支援の充実 ・健康寿命を延ばす意識の高揚 ・地域全体を支える医療体制の確保 ・障がいのある人が安心して自分らしく暮らせる支援の充実 ・複層的な課題に対応する相談、支援体制の整備		★	
	リーダー 【教育】 明日を担う「人」を育てる ・いきいきと学ぶことのできる学校教育の推進 ・郷土の誇りを醸成する教育の充実 ・未来の創り手となる人材の育成	★	★	★
「まち」を豊かに	シェア 【地域づくり・協働】 「まち」を共に創る ・多様な担い手が活躍する市民協働の促進 ・自分らしくありのままに暮らせる共生社会の実現 ・住み慣れた地域で住み続けられる過疎対策の実施 ・学びが循環する生涯学習の推進 ・お互いを思い合う人権教育と人権啓発の推進 ・1市民1スポーツの奨励 ・人とまちの魅力を育む文化の振興	★	★	★
	アクティブ 【産業・経済・雇用】 「まち」に活力を生む ・活気と賑わいを生む商工業の振興 ・誰もがいきいきと働ける雇用対策の充実 ・魅力的な農業の振興 ・健全な森林を育てる力強い林業の振興 ・地域資源を生かした観光の推進	★		★
「暮らし」を豊かに	セーフティ 【防災・生活環境】 安心な「暮らし」を守る ・市民の暮らしを守る防災対策の強化 ・命を守る交通安全や防犯意識の向上 ・環境負荷を軽減する廃棄物の減量化、再資源化の推進 ・自然と共生する環境保全の推進		★	
	アメニティ 【都市基盤整備・上下水道】 快適な「暮らし」を造る ・機能的でコンパクトな都市づくり ・便利で安全な道路網の整備 ・計画的なインフラ施設の更新 ・災害を未然に防ぐ治山治水の整備促進 ・住宅の耐震化の促進と危険空家対策の強化 ・快適で潤いのある住環境の整備 ・利便性の高い公共交通網の整備 ・安全で安定した上下水道の適切な運営	★		
	スリム 【行財政・人口対策】 持続可能な行財政運営を行う ・まちの未来を創る人口増加策の実施 ・経営の視点に立った行政運営の推進 ・将来を見据えた健全な財政運営 ・郷土愛と改革意識を持った職員の育成 ・効果的なアセットマネジメントの実施 ・効率を高めるICTの高度利用の推進 ・強みを生かしあう広域連携の推進		★	★

●地域における支え合いの体制の構築

子どもから高齢者までの全ての人が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域包括ケアシステムなどの地域で支え合う体制を構築します。

●高齢者が安心して暮らせる見守り体制の強化

高齢者が安心して生活できるように、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対する見守り体制を強化するとともに、認知症になった人や家族へのサポート体制を充実します。

●安心して子どもを産み育てられる子育て支援の充実

子育てに対する多様なニーズに応えるために、保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育など教育や保育に関する選択肢を増やします。

また、安心して子育てができるように、地域子育て支援拠点整備、一時預かり、病児病後児保育などの支援メニューを充実します。

●健康寿命を延ばす意識の高揚

市民の健康寿命を延ばすために、「自分の健康は自分で守る」という主体的な健康意識の高揚を図ります。

また、生涯を通じて健康で暮らせるように、保健指導や健康診査などの疾病予防対策を充実します。

●地域全体を支える医療体制の確保

市内のどこに住んでも安心して暮らせるよう、過疎地域における医療を確保するとともに、へき地医療拠点病院との連携を図ります。

また、急な発病や怪我などに対応できるように、休日の初期診療、初期夜間急病診療、救命救急センターなどの救急医療体制を確保します。

●障がいのある人が安心して自分らしく暮らせる支援の充実

障がいのある人が住み慣れた地域で地域の一員として暮らすために、住環境や就労などに関する支援を充実するとともに、地域で支え合える体制を整備します。

●複層的な課題に対応する相談、支援体制の整備

高齢、障がい、DV、ひとり親家庭、ひきこもりなどの複層的な課題に対応し、関係機関との連絡調整を行う総合相談機能を充実します。

また、生活に困窮する人の経済的・社会的自立のため、寄り添い型の支援や訓練メニューを充実します。

● **いきいきと学ぶことのできる学校教育の推進**

次代を担う「人」を育成するために、児童生徒が、安全安心かつ快適な環境の中で、いきいきと学び確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな身体を育む学校教育を推進します。

また、児童生徒の心身の健全な発達のため、学校給食を通じた食育を推進します。

● **郷土の誇りを醸成する教育の充実**

郷土に対する誇りと愛情を育むために、地域固有の歴史、文化、産業、人材などの地域資源を教育に生かします。

● **未来の創り手となる人材の育成**

グローバル社会に対応するために、ICTや語学に興味を持ち、創造的で多様な文化や価値観を理解できる人材を育成します。

●多様な担い手が活躍する市民協働の促進

地域が抱える課題を解決するために、市民と連携し、お互いの特性や能力を発揮し合いながら、一体となってまちづくりに取り組みます。

また、地域の身近な課題を地域自らが解決できるように、市民の力や地域の力を醸成するとともに、市民活動団体や地域委員会などが自由な発想で行う自主的・主体的な活動を支援します。

●自分らしくありのままで暮らせる共生社会の実現

高齢者、障がい者、外国人、LGBTなどの多様な人々がまちづくりの担い手として活躍できるように、一人ひとりの個性と能力が発揮できる環境を整備します。

また、女性の活躍を推進するために、意思決定の場への参画促進や出産、子育てなどのライフステージに合わせた働き方支援を行うとともに、男女平等意識を醸成し、ワークライフバランスを促進します。

●住み慣れた地域で住み続けられる過疎対策の実施

いつまでも住み慣れた地域で暮らせるように、地域コミュニティの維持と生活基盤の確保を図ります。

●学びが循環する生涯学習の推進

生涯を通じて多様な「学び」ができるように、学習メニューの充実を図るとともに学習機会を提供し、身につけた「学び」を家庭、地域、職場で生かし実践できる「学び」の循環を促進します。

また、多様な人が地域において活躍できるよう、ボランティア意識の高揚を図り、ボランティア活動への積極的な参加を促します。

●お互いを思い合う人権教育と人権啓発の推進

人権についての正しい理解と一人ひとりの人権意識の高揚を図るために、地域、学校・幼稚園・保育園、企業、行政機関と連携し、様々な場や機会を通じて人権教育及び人権啓発を実施します。

●1市民1スポーツの奨励

気軽にスポーツを楽しめるように、スポーツイベントや競技スポーツの観戦機会を提供するとともに、ライフステージや能力に応じたスポーツ教室などを実施します。

また、スポーツに関する情報提供、団体育成及び施設の充実を図り、スポーツに関するソフト・ハード環境を整備します。

●人とまちの魅力を育む文化の振興

豊かな心と郷土への誇りを醸成するために、子どもの頃から芸術・文化に触れ、鑑賞、活動で
きる環境を整えます。

また、まちの魅力を後世に継承するため、関伝日本刀鍛錬技術、円空、小瀬鶉飼、史跡弥勒寺
遺跡などの本市を代表する文化や伝統、地域における民俗や伝統行事などの保存と活用を進めま
す。

【産業・経済・雇用】

アクティブ

政策4 「まち」に活力を生む

●活気と賑わいを生む商工業の振興

本市の主要産業である金属製品製造業を振興するために、生産性と付加価値をさらに向上させ
ます。また、地域経済に新たな活気を生み出すビジネスの創出と企業の誘致を進めます。

市民の暮らしを支える地域商業を育成するために、賑わいや憩いの場でもある商店の魅力を向
上させるとともに、経営力強化や新規出店を支援します。

●誰もがいきいきと働ける雇用対策の充実

誰もがいきいきと働くことができるように、新たな雇用の創出や、求職と求人とのマッチングを
支援するとともに、様々な働き方を可能とする雇用環境の整備を促進します。

●魅力的な農業の振興

農業が新たな担い手にとって魅力ある産業となるように、農産物の6次産業化や高付加価値化、
集落営農による効率化を進めるとともに、農業・農村が持つ多面的機能の維持及び整備を進めま
す。

また、農業の生産性を高めるために、関係団体との連携を図りながら、効果的な有害鳥獣の捕
獲・駆除や被害予防対策を実行します。

●健全な森林を育てる力強い林業の振興

森林の持つ多面的な機能が持続的に発揮されるように、合理的かつ効果的な森林の整備や保全
を計画的に行います。

●地域資源を生かした観光の推進

観光の魅力を向上させるために、小瀬鶉飼、長良川の鮎、刃物などの地域資源のブラッシュア
ップや新たな資源の掘り起こしを行うとともに、広域連携による面的観光地づくりを進めます。

また、観光振興の中心的な役割を担う観光協会を充実させることで、交流人口の拡大を図り、
地域経済を活性化します。

【防災・生活環境】

セーフティー

政策5 安心な「暮らし」を守る

●市民の暮らしを守る防災対策の強化

自然災害や不慮の事態等から市民の生命や財産を守るために、安心できる消防及び救急体制を確保します。

また、共助による地域防災力を高めるために、市民の減災に対する意識を向上させるとともに、地域における防災組織との有機的な連携を進めます。

●命を守る交通安全や防犯意識の向上

市民の交通安全や防犯の意識を高揚させるために、警察、学校、保育園、関係機関等と連携して啓発活動を行います。

また、子どもや高齢者等を交通事故の被害者や加害者にさせないように、交通安全教育を推進します。

●環境負荷を軽減する廃棄物の減量化、再資源化の推進

環境への負荷を軽減し、資源を無駄なく使うために、廃棄物の減量化や再資源化を推進します。

●自然と共生する環境保全の推進

快適な生活環境を守るために、市民の環境意識を高めるとともに、公害防止やまちの美化を推進します。

また、河川や山林への不法投棄の防止に努めます。

【都市基盤整備・上下水道】

アメニティ

政策6 快適な「暮らし」を造る

●機能的でコンパクトな都市づくり

市街地と周辺地域が共生する機能的で効率的な都市をつくるために、都市機能の集約と土地の有効利用を図りながら、道路、公共交通、情報通信基盤を通じて対流する「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを進めます。

●便利で安全な道路網の整備

市内外への移動を容易にするために、便利で安全な幹線道路や生活道路の整備を行うとともに、国、県などの関係機関に働きかけ、広域道路ネットワークの整備を促進します。

● 計画的なインフラ施設の更新

老朽化するインフラ施設（道路、橋りょう、上下水道）の修繕及び更新費用の増大に対応するため、重要度や緊急度を踏まえて計画的に整備します。

● 災害を未然に防ぐ治山治水の整備促進

土砂災害、浸水被害を未然に防ぐため、国、県などの関係機関と連携して、急傾斜地崩壊対策や砂防ダムなどの治山や河川改修に取り組みます。

● 住宅の耐震化の促進と危険空家対策の強化

地震による家屋の倒壊を防ぐため、住宅・建築物の耐震化を促進します。

また、景観や防災・防犯において悪影響を及ぼす空家等を解消するために、助言、指導等を適切に行います。

● 快適で潤いのある住環境の整備

関市が新たな居住の地として選択されるよう、土地区画整理事業により良好な住宅環境を整備します。

また、子育て世代が安心して憩い、集い、遊べる場を提供するために、身近な場所に公園を整備します。

● 利便性の高い公共交通網の整備

利便性の高い公共交通を整備するために、身近な暮らしを支える交通手段と都市間をつなぐ広域の交通手段を確保するとともに、まちづくりと一体となった公共交通のネットワークを構築します。

● 安全で安定した上下水道の適切な運営

「清流長良川の鮎」を育む河川の水質を守るために、適切な汚水処理を行うとともに、安全安心かつ安定的に水道水を供給するために効率的な公営企業の経営を行います。

また、上下水道施設の整備及び耐震化を計画的に進めます。

●まちの未来を創る人口増加策の実施

人口減少時代に立ち向かい、本市の未来を創るため、移住の促進と若者・子育て世代の定住の拡大に取り組みます。

また、若者・子育て世代が「住みたい・住み続けたい」と実感できるように、本市が持つ魅力や優位性を、効果的かつ戦略的に発信します。

●経営の視点に立った行政運営の推進

最小の経費で最大の効果を上げる行政運営を行うために、既存の公共サービスの見直しや事業の選択と集中を図り、行財政改革を推進します。

●将来を見据えた健全な財政運営

複雑で多様化する行政課題や市民ニーズに的確に対応し、持続可能な自治体経営を行うため、将来を見据えた長期財政計画に基づき健全な財政運営に努めます。

また、企業会計や特別会計の健全な運営を図ります。

●郷土愛と改革意識を持った職員の育成

効率的で活力のある行政運営を行うために、関市を愛し情熱を持って職務に取り組み、市民から信頼される職員を育成するとともに、機能的で改革を推進する行政組織をつくります。

●効果的なアセットマネジメントの実施

公共施設によるサービスを持続的に提供していくために、長期的な視点を持って、施設の維持、更新、統廃合、長寿命化を行います。

また、公共施設の効率的な運営を行うために、民間活力の導入を図ります。

●効率を高めるICTの高度利用の推進

市民サービスの向上と業務の効率化のために、行政内部の情報化を推進し、ICTを活用した行政サービスを拡充します。

●強みを生かしあう広域連携の推進

広域化する行政ニーズへの対応と周辺地域の活力の維持向上のために、市域の枠組みを超え、行政サービスの専門性や得意分野を生かしあう広域連携を推進します。

